

第5回 佐世保市地域福祉計画推進委員会	資料1
平成29年 7月 19日 (水)	

第2期地域福祉計画評価に係る論点整理

～はじめにお読みください～

1. 地域福祉の目的

○地域福祉とは、社会福祉における公的サービスでは対応できない部分について、社会福祉協議会等が中心となり、「地域の力」を活用して補完しようとするもの。

○したがって、医療や介護等の公的サービス側から求められる、サービスの隙間や、日常生活を支援するなどの対応が行われなければならない。

求められる対応は、大きく次の2つ

①ケースワーク（直接支援もしくは人を動かし支援）

- ・ゴミ屋敷、精神障がい、引きこもりからの自立支援（困難事例：社協職員の直接援助）
- ・独居高齢者等への日常生活支援（民生委員・ボランティア等による支援）
- これらが、結果的に、病院や介護施設における対応困難ケースの受け皿となる

②コミュニティソーシャルワーク（地域を動かし支援）

- ・各地域においてボランティア等を育成し、①の体制に寄与（コーディネータ機能）
- ・要支援者同士がネットワーク化されることにより地域力を強化（サロン等）
- ・地域住民同士が話し合い等を通じて、共に支え合う地域づくりがなされる体制を構築
- このことにより、医療や介護への進行を遅らせる
- 孤立や危機的不便さを解消しつつ、日常生活の基盤を整える
- 地域社会への参加を促し、共生社会実現する

2. 平成28年度実績の評価について

平成28年度事業実績の総括（実施者としての分析）について、以下のとおり、案を作成いたしましたのでご確認をお願いします。

(1) 生活支援員について、年間利用者が増加するなか、昨年度の評価で取り組むこととなっていた生活支援員とのマッチングが進むとともに、生活支援員のスキルアップを行いサポート体制の充実を図った。

- ・日常生活自立支援事業 (P.3) [評価点：4]

(2) ボランティア関係事業について、体制強化と登録ボランティア数の確保に努め、成果がでていく。今後も、登録者が活躍できるボランティア活動へのマッチングを図っていきながら地域福祉の実現に向け、地域の主体的活動が推進されるよう基盤構築（担い手育成・体制整備）を促進していく。

- ・話し相手ボランティア事業 (P.1) [評価点：3]
- ・ボランティアセンター運営事業 (P.10) [評価点：3]
- ・ボランティア活動支援 (P.10) [評価点：3]

(2) 現在までの第2計画の評価を踏まえ、今後、第3期計画策定に向けた事業の研究・検討を進めていく。

3. 「取組み評価一覧表」の見方と評価基準

「取組み評価一覧表」(A3版 資料2)について確認をお願いします。

表の左から「実施結果の分析と今後の対策」までを、事務局(市と社協)が記入しております。「評価コメント」「評価点」は上記を勘案し、委員会として記入していただく部分でございますが、案を事務局で記載しておりますので、委員会当日は、この部分についてご意見をいただきます。

平成 28 年度の主な活動内容	平成 28 年度に、実際に取り組んだ活動の内容を書いています。
目標・指標	①計画上、数値目標が設定されているものには、目標値、実績値、達成度(目標値/実績値)を示しています。 ②計画上、年次計画が示されているものには、年次計画と、実績を示しています。 ③計画上、目標、年次計画が示されていないものには、活動内容に関する参考データを示しています。
実施結果の分析と今後の対策	活動内容や目標の達成度を分析した結果と、それに対する今後の対策について、実施者として、整理を行っています。
達成度平均値	その事業の数値目標達成度の平均値を示しています。数値目標が設定されていない事業には表記していません。
評価コメント	活動実績や実施者としての自己分析、今後の対策を踏まえた上で、委員会として必要な取組みや指摘、実施者に求めることなどについてコメントします。
評価点	「達成度平均値」と「評価コメント」の内容から、1～5の点数を付けていただくものです(評価基準は下記のとおり)。

【事業ごとの評価点について】

- 5 目標達成できている(数値目標 90%以上)、かつ大きな成果を伴う特筆すべき点がある
- 4 目標達成できている(数値目標 90%以上)、かつ評価すべき点がある
- 3 目標達成できている(数値目標 90%以上)、あるいは目標達成できていないが合理的理由がある、又は評価すべき点がある
- 2 目標達成できていない(数値目標 90%未満)、あるいは目標達成できているが改善すべき点がある
- 1 目標達成できていない(数値目標 90%未満)、かつ重大な改善すべき点がある

総合評価	大項目（「個別支援」「小地域支援」「地域福祉活動」「その他の取組み」）ごとに、A～D で評価するものです（評価基準は下記のとおりで、計算により自動的に算出されます）。
------	---

【総合評価について】

- A 目標達成できており、かつ特筆すべき点がある
（事業ごとの評価点の平均が、3.5 以上）
- B 目標達成できている
（事業ごとの評価点の平均が、3.0 以上 3.5 未満）
- C 目標達成できている事業もあるが、改善すべき点がある
（事業ごとの評価点の平均が、2.5 以上 3.0 未満）
- D 改善する必要がある
（事業ごとの評価点の平均が、2.5 未満）

事務局（市）が記入した評価コメント（案）、評価点（案）は次のような考え方に基づいて作成しています。

【個別支援】

事業名：話し相手ボランティア	評価点：3
(評価コメント) ○目標は達成できているが、ボランティア活動の対象を広げるなど依頼者増につながる取組み、および適正なボランティア数について第3期計画に向けた研究・検討をしていただきたい。	
(評価根拠) ★目標達成できているので評価点は3 ★地域で必要とされるボランティア活動は何か研究し、依頼者増につながる取組みを検討していただきたい。	
事業名：佐世保市福祉資金貸付事業	評価点：3
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、通年通りの取組みであるため、評価点は3。 ★必要な支援につなげるための取組みのため、コメントは「継続」。	
事業名：長崎県生活福祉資金貸付事業	評価点：3
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、通年通りの取組みであるため、評価点は3。 ★必要な支援につなげるための取組みのため、コメントは「継続」。	

事業名：生活困窮者自立支援事業	評価点：5
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★数値目標を大きく上回っており、H27年度に引き続き成果を上げている。H28年度についても相談に対し適切な対応をとっているため評価点は5。 ★適正に実施できており、コメントは「継続」。	
事業名：日常生活自立支援事業	評価点：4
(評価コメント) ○利用者に対する必要な支援を行えるよう、引き続き生活支援員によるサポート体制の充実を図っていただきたい。	
(評価根拠) ★数値目標を上回っており、かつ利用者数も伸びており評価点は4。 ★支援員は、質・量ともに、常に対応可能な体制を取っておく必要があるため、その旨をコメントに記載。	
事業名：高齢者あんしんセンター事業	評価点：3
(評価コメント) ○事業廃止後のフォローアップについて、今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠) ★目標達成していないが、継続支援者に対して適切に対応しているため評価点は3。 ★平成28年度で事業廃止。事業廃止後のフォローについて成年後見へ移行を進めるよう、コメントに記載。	
事業名：成年後見制度の推進	評価点：3
(評価コメント) ○引き続き、支援体制の充実、および制度の周知について取り組んでいただきたい。	
(評価根拠) ★目標達成していないが、成年後見制度の性格を考慮し評価点は3。 ★後見人を選定するのは裁判所であり、受任数をコントロールするのは困難であるが、受任者件数は今後も増加すると見込まれるため、対応できる体制が必要であるため、コメントに記載。	
事業名：生活支援に係るケースマネジメント事業	評価点：4
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当 ○地域包括ケアシステムにおける「生活支援」の充実に向け、多職種連携のさらなる推進に期待したい。	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、適切な対応をとっているため評価点は4。 ★適正に実施できており、コメントは「継続」。 ★多職種連携によるケースマネジメントは、対象者の課題の解決につながるためコメントに記載。	

事業名：民生委員・児童委員支援	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、適切に取り組まれているので、評価点は3。	
事業名：緊急時連絡カード配布事業	評価点：4
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、PR効果による配布枚数増（活用増）により、評価点は4。	
事業名：救急医療情報キット実施事業	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、通年通りの取り組みであるため、評価点は3。	

【小地域支援】

事業名：食事サービス支援	評価点：3
(評価コメント) ○新規依頼者数を増やす事も大切であるが、依頼者の分析をして、減少原因、課題を抽出し、他の事業との連携も含めた解決策を検討し、活動内容に反映して取り組むこと	
(評価根拠) ★目標達成しているので、評価点は3 ★依頼者の分析（世帯構成、年齢、男女比率、ニーズ等）をして活動に反映させていくべきであるため、その旨コメントに記載。	
事業名：ふれあい援護ネットワーク（仮称）の推進	評価点：3
○システムを活用した「見守り」が実効性のある仕組みとなるよう、関係機関と連携し事業構築に取り組むこと	
(評価根拠) ★数値目標設定はないが、システムを導入し運用開始したため評価点は3。 ★システムで集積したデータを活用した仕組みづくりを今後進めていくようコメントに記載。	
事業名：ふれあいいきいきサロンの支援・推進	評価点：4
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★数値目標を上回っており、かつ参加者数も伸びており評価点は4。 ★適正に実施できており、コメントは「継続」	

事業名：地域共生サロン（地域の居場所）づくり	評価点：3
<p>(評価コメント)</p> <p>○今後の対策のとおり実践されたい</p> <p>○第3期計画策定に向け、サロン事業と地域共生サロン事業の差別化について整理されたい。</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★目標達成しているので、評価点は3</p> <p>★それぞれのサロン事業の対象、あり方等を再度整理し、第3期計画策定に向け検討を進めていくようコメントに記載。</p>	

【地域福祉活動】

事業名：地区福祉推進協議会活動支援事業	評価点：2
<p>(評価コメント)</p> <p>○福祉カルテを定期的に更新することで、支援計画の進捗を管理し、着実に今後の対策の実施に取り組むこと</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★数値目標設定はないが、昨年に引き続き、取り組み（各地域における福祉課題の調査分析（福祉カルテ）を踏まえた各福推協との活動内容のすり合わせ）が、十分になされているとは言い難く、評価点は2。</p> <p>★上記を踏まえ、今後の対策のとおり実施するようコメントに記載。</p>	
事業名：地域活性化モデル事業	評価点：4
<p>(評価コメント)</p> <p>○今後の対策のとおり実践されたい</p> <p>なお、モデル事業であるので、今後、市内他地域に展開できるか検証に取り組むこと</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★目標達成しており、モデル事業も進んでおり、在宅リハ推進員養成講座など新たな取組にも着手されているため、評価点は4</p> <p>★モデル事業の役割として、実施内容・効果を分析し、市内の他の地域へのフィードバックや新たな事業化の可能性を検証するようコメントに記載。</p>	

【その他の取組み】

事業名：地域福祉の一環としての福祉活動拠点の整備	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい	
(評価根拠) ★数値目標設定はないが、市からの委託事業も適切に実施しているため、評価点は3。	
事業名：地域福祉を総合的に推進するための拠点施設の整備	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい	
(評価根拠) ★数値目標設定はないが、早期実現のために市と調整は行っているため、評価点は3。	
事業名：社会資源情報の収集整備	評価点：3
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当 ○PRだけでなく、閲覧しやすい、またニーズ沿った掲載を研究し取り組むこと	
(評価根拠) ★年次計画のとおり事業が進められているため、評価点は3。 ★適切に実施できているため、コメントは「継続」。 ★発信側の視点だけでなく、見る側の視点を考慮するようコメントに記載。	
事業名：災害時要援護者・平常時要支援者の一元的データ管理	評価点：3
(評価コメント) ○システムを活用した実効性のある仕組みとなるよう、関係機関と連携し事業構築に取り組むこと	
(評価根拠) ★ふれあい援護ネットワーク（仮称）の推進事業と同様の評価。	
事業名：計画推進の成果の評価等	評価点：4
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい ○地域福祉の推進に向けた、効果的な事業の実施につながる基礎となるよう分析調査に取り組むこと	
(評価根拠) ★年次計画のとおり事業が進められており、H28年度は地域福祉の推進を測定する新たな指標を完成させているため、評価点は4。 ★第3期計画策定に反映できるよう調査分析を確実に進捗させる旨コメントに記載。	
事業名：ボランティアセンター運営	評価点：3
(評価コメント) ○引き続き、ボランティア活動を希望する方のニーズを受け止め、活動につなげる窓口機能を果たせるよう取り組むこと	
(評価根拠) ★目標達成しているため、評価点は3。 ★今後も、登録者が活躍できるボランティア活動へのマッチングを図るようコメントに記載。	

事業名：ボランティア活動支援	評価点：3
○引き続き、ボランティア活動の促進につながる講座の実施やメニューの開発に取り組むこと。	
(評価根拠)	
★目標達成しているため、評価点は3	
★目標達成できているが、さらにボランティア活動が活性化されるようコメントに記載。	
事業名：福祉人材バンク	評価点：3
(評価コメント)	
○今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠)	
★目標達成しているため、評価点は3。	
事業名：災害時避難行動要支援者避難支援計画	評価点：3
(評価コメント)	
○システムを活用した「見守り」が実効性のある仕組みとなるよう、関係機関と連携し事業構築に取り組むこと	
(評価根拠)	
★ふれあい援護ネットワーク（仮称）の推進事業と同様の評価。	
事業名：福祉避難所	評価点：3
(評価コメント)	
○熊本地震を含む種々の災害での課題を教訓にして、実効性のある制度とすること	
(評価根拠)	
★数値目標設定はないが、通年通りの取り組みであるため、評価点は3。	
★福祉避難所の充足は課題であると考えられるため、福祉避難所数および福祉避難所としての機能がどれだけ必要かを見極め、制度に反映させてもらいたい旨コメントに記載。	
事業名：災害ボランティアセンター	評価点：3
(評価コメント)	
○実際に災害が起きた時の具体的な動きについて行政と協議し、円滑な活動が行えるよう努めること	
(評価根拠)	
★目標達成しているため、評価点は3	
★行政、社協ともに災害時に迅速に対応できるようコメントに記載。	
事業名：災害ボランティアネットワーク連絡協議会	評価点：3
(評価コメント)	
○今後の対策のとおり実践されたい	
(評価根拠)	
★目標達成していないが、協議会と研修会を同日実施し効率化した結果であるため、評価点は3。	
事業名：出前講座	評価点：3
(評価コメント)	
○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠)	
★目標達成できているため、評価点は3	
★適正に実施できており、コメントは「継続」	

事業名：地域福祉講演会	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい	
(評価根拠) ★目標達成しているため、評価点は3	
事業名：階層別福祉教育	評価点：4
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★モデル地区での実践や、学校を対象とした新たな取組が実施されており、評価点は4. ★適正に実施できており、コメントは「継続」	
事業名：地域における人材育成	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい	
(評価根拠) ★数値目標設定はないが、地域福祉の推進に不可欠な、人材の育成に積極的に取り組まれているため、評価点は3。	